

沖 縄 県 教 育 年 報

— 令和4年度版 —
(令和3年度の実績)



沖縄県高等学校実習船 第六代「海邦丸」就航（令和3年4月）

沖 縄 県 教 育 委 員 会

はじめに

沖縄県教育委員会においては、個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りを持ち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を図っていくため、「沖縄県教育振興基本計画【後期改訂版】」（総論：平成24年度～令和3年度、各論：平成29年度～令和3年度）に基づき、教育諸施策を推進してまいりました。

同計画の最終年度である令和3年度の主な取組は下記のとおりです。

生涯学習の充実については、遠隔講義配信システムにより、離島をはじめ全県へインターネットでおきなわ県民カレッジ等の講座を配信し、学習機会の拡充に取り組みました。

学校教育については、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、学習意欲を向上させる施策の強化に取り組みました。また、全国学力・学習状況調査においては、これまでの授業改善など様々な取組により、小学校の平均正答率は全国水準を維持し、中学校は緩やかな改善傾向が見られます。さらに、積極的な進路選択を推進するため「進学力グレードアップ推進事業」「就職活動キックオフ推進事業」等を実施しています。

特別支援教育関連では、県立泊高等学校及び県立八重山商工高等学校において通級の指導を実施し、生徒の障害の状態に応じた指導の充実を図っています。また、増加している小・中学校特別支援学級の担当者向け研修会を開催し、連続性のある多様な学びの場の充実に努めています。

さらに、「インクルーシブ教育システム整備事業」等を実施し、外部専門家の活用にも力を入れ、教職員の専門性の向上に取り組んでいます。

国際化・情報化への対応については、グローバルに活躍できる人材育成を図るため、「英語立県沖縄推進戦略事業」「国際性に富む人材育成留学事業」「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業」等を実施し、「交流や体験」を通して小中高校生等の語学教育や国際理解教育を推進しています。また、高度情報通信社会に対応できる情報活用能力を育成するため、情報教育の一層の改善・充実を図っています。

子どもの貧困対策の推進については、保護者に対する就学援助制度の効果的な周知など、制度を利用しやすい環境の整備を促進するとともに、「高等学校等奨学のための給付金事業」により、教材費や教科書など授業料以外の教育費負担が軽減されるなど、家庭の状況にかかわらず、誰もが安心して教育が受けられる環境の整備に努めています。また、「バス通学費等支援事業」の実施により、低所得世帯の生徒のバス通学費等を支援しています。

青少年の健全育成については、「地域の子どもは、地域で守り育てる」意識を高め、子どもの教育に多くの大人が関わり、地域の人材資源を積極的に学校教育に取り入れ学校支援や子どもの居場所づくりを図り、公民館等においても地域コミュニティーづくりを推進しています。

社会教育の充実については、新たな時代の多様化・高度化した社会ニーズに応えられるよう、図書館の機能高度化やサービスの充実を図っています。

スポーツの振興においては、児童生徒の活躍はめざましく、各種大会等において全国制覇や多くの種目で上位入賞を果たしました。今後もさらに、学校体育・スポーツ、運動部活動の充実を図っていきます。

文化の継承・発展については、本県の貴重な文化財を保存・継承し、後世に伝えていくため、文化財の調査・指定、保存・整備に努めるとともに、「歴代宝案」・「新沖縄県史」の編集・刊行を推進しています。また、児童生徒の豊かな感性や情操を養うため、学校へ優れた芸術文化公演等を鑑賞・体験する機会を提供するとともに、文化部活動への支援を行うなど、学校における文化活動の活性化を推進しています。

このように、教育諸施策を推進してきました。その成果を踏まえ、引き続き教育課題の解決を図り、本県教育の振興に努力してまいりますので、教育関係者をはじめ県民の一層の御協力をお願いいたします。

本書は、令和3年度の本県教育行政の実績をまとめたものであり、多くの方々に広く活用され、本県教育の向上・発展の一助となることを願うものであります。

沖縄県教育委員会

令和4年3月31日現在

教育長



金城 弘昌

令和2年4月1日から
令和4年3月31日まで

委員 (教育長職務代理者)



上原 勝晴

平成30年7月15日から
令和4年7月14日まで

委員



山里 清

平成31年4月5日から
令和5年4月4日まで

委員



藏根 美智子

令和2年1月1日から
令和5年12月31日まで

委員



小濱 守安

令和3年1月1日から
令和6年12月31日まで


委員




比嘉 佳代

令和4年1月1日から
令和7年12月31日まで

令和3年度 教育庁ニュース

月 日	4月	課 名	学校人事課
件 名	小中学校全学年における少人数学級を実現		
説 明	これまで段階的に取り組んできた小中学校における少人数学級について、令和3年度から、中学2・3年生においても35人学級を実施し、小中学校全学年で少人数学級を実現した。		
月 日	4月	課 名	教育支援課
件 名	バス・モノレール通学費無料化を通学区域が全区域の中学生へ拡充		
説 明	令和2年10月から開始したバス・モノレール通学費無料化について、従来の支援対象である高校生に加え、令和3年度から通学区域が全区域の中学生も対象とすることとした。		
月 日	4月1日	課 名	義務教育課
件 名	小中学校において児童生徒1人1台端末が整備され、GIGAスクール構想がスタート！		
説 明	今年度より、GIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末が整備され、授業やオンライン学習での活用が始まった。学校のICT活用が急速に進み、授業改善に大きく寄与している。		
月 日	4月7日	課 名	県立学校教育課
件 名	県立真和志高等学校に「ゆい教室」設置		
説 明	沖縄らしいインクルーシブ教育システムの構築に向けて、モデル校として県立真和志高等学校に「ゆい教室」を4月に設置し、障害のある人も障害のない人も共に学ぶ取組を進めている。		
月 日	4月12日	課 名	県立学校教育課
件 名	沖縄県高等学校実習船 第六代「海邦丸」就航		
説 明	 <p style="text-align: center;">第六代「海邦丸」</p>	<p>平成14年就航の先代「海邦丸五世」の老朽化に伴い、代船を建造。</p> <p>船体を大型化することで、乗船生徒定員を増員し、最新鋭の機器・設備等を装備するなど、海事従事者養成施設の充実が図られた。</p>	
月 日	7月17日	課 名	文化財課
件 名	重要無形文化財「琉球舞踊立方」の指定及び保持者の認定（各個認定）を答申		
説 明	 <p style="text-align: center;">宮城幸子氏</p>	 <p style="text-align: center;">志田房子氏</p>	<p>伝統芸能分野初の女性の人間国宝、宮城幸子（ゆきこ）氏、志田房子が認定。これにより県内の芸能・工芸分野の人間国宝が15人に（物故者含む）。</p>

月 日	7月29日	課 名	文化財課
件 名	写真甲子園2021 沖縄工業高等学校 優勝&選手が選ぶ特別賞の2冠		
説 明	オンラインで開催された第28回全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園2021）において、沖縄工業高等学校写真部が優勝と参加選手が選ぶ特別賞の2冠に輝いた。		
月 日	7月29日	課 名	生涯学習振興課
件 名	1877年5月にフランス海軍ルヴェルテガ少尉が撮影した首里城、崇元寺石門の写真データ3点の寄贈を受ける		
説 明	現存が確認されている最古の首里城正殿などの写真について、首里城再建技術検討委員の伊従勉氏を介して、原版所蔵者のエルヴェ・ベルナル氏（フランス在）から県立図書館が写真データの寄贈を受けた。 首里城復元事業への活用を始め、今後広く利用が期待される。		
月 日	7月31日	課 名	文化財課
件 名	全国高等学校総合文化祭パレード部門 西原高等学校 グッドパレード賞		
説 明	和歌山県で開催された高校生の文化の祭典、第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）パレード部門において、西原高等学校マーチングバンド部が1位にあたるグッドパレード賞を受賞した。		
月 日	8月2日	課 名	文化財課
件 名	全国高等学校総合文化祭マーチングバンド・バトントワリング部門 西原高等学校 講評者特別賞		
説 明	和歌山県で開催された高校生の文化の祭典、第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）マーチングバンド・バトントワリング部門において、西原高等学校マーチングバンド部が1位にあたる講評者特別賞を受賞した。		
月 日	8月5日	課 名	文化財課
件 名	全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門 南風原高等学校 最優秀賞・文部科学大臣賞		
説 明	和歌山県で開催された高校生の文化の祭典、第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）郷土芸能部門において、南風原高等学校郷土芸能部が最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞した。		
月 日	8月12日	課 名	施設課
件 名	那覇みらい支援学校校舎建築工事完了		
説 明	那覇南部地区特別支援学校の過密化解消と、那覇市在住児童生徒の市外特別支援学校への通学負担を解消するための新たな特別支援学校の建築工事が完了した。		
月 日	8月19日	課 名	総務課
件 名	北部地区に設置する県立中高一貫教育校の校名を「県立名護高等学校附属桜中学校」に決定		
	8月19日の教育委員会会議において、名護高等学校に併設する県立中高一貫教育校の校名を「県立名護高等学校附属桜中学校」に決定した。		

月 日	8月27日	課 名	文化財課
件 名	石垣市に所在する「海底電線陸揚室（電信屋）」を県指定史跡に認定		
説 明	 <p>海底電線陸揚室跡は石垣市字崎枝にある近代の遺跡である。明治30年に造られた通信施設で、日清戦争後の台湾経営など近代日本の政策や軍事に関連している。</p> <p>沖縄県が通信情報網に組み込まれた社会情勢を示し、八重山における沖縄戦の痕跡を残している。</p> <p>海底電線陸揚室（電信屋）</p>		
月 日	7・8月	課 名	保健体育課
件 名	中・高校生がスポーツ面で大活躍		
説 明	<p>○第45回全日本中学ボウリング選手権優勝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子 城北中学校 ・女子 鏡原中学校 <p>○第1回全国中学生ビーチバレー選手権優勝 南星中学校</p> <p>○全国高校総体（北信越）優勝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぎなた 演技 知念高等学校 ・陸上 女子円盤投げ 那覇西高等学校 ・ウエイトリフティング 女子76kg 超級 本部高等学校 ・ウエイトリフティング 男子102kg 超級 沖縄工業高等学校 <p>○JOC ジュニアオリンピックカップ</p> <p>第45回全日本高校ボウリング選手権大会優勝 中部商業高等学校</p> <p>○第59回全国高校選手権（ライフル射撃）男子エアライフル団体優勝 興南高等学校</p>		
月 日	10月	課 名	保健体育課
件 名	第15回U18陸上競技大会にて高校生が大活躍		
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・男子300m優勝 コザ高等学校 ・女子円盤投げ優勝 那覇西高等学校 		
月 日	11月14日	課 名	生涯学習振興課
件 名	第43回少年の主張全国大会～わたしの主張2021～ 審査委員会委員長賞受賞		
説 明	<p>中学生を対象とした第43回少年の主張全国大会において、沖縄県代表の宮古島市立久松中学校1年生の生徒が審査委員会委員長賞を受賞した。</p> <p>大会主催者：独立行政法人 国立青少年教育振興機構</p>		

◎学校設置・廃止

(1) 設 置

校種	学 校 名	開校日	学校長	所 在 地
中	宮古島市立城東中学校	3. 4. 1	比嘉 豊樹	宮古島市城辺字西里添1080番地
特	沖縄県立はなさき支援学校 (分校の本校化)	3. 4. 1	大城 麻紀子	北中城村字屋宜原415番地

(2) 廃 止

校種	学 校 名	閉校日	学校長	所 在 地
幼	うるま市立あげな幼稚園	3. 3. 31	—	うるま市字西原151
幼	浦添市立港川幼稚園	3. 3. 31	—	浦添市城間4-37-1
幼	浦添市立沢岬幼稚園	3. 3. 31	—	浦添市字沢岬998
中	宮古島市立福嶺中学校	3. 3. 31	—	宮古島市城辺字新城634番地
中	宮古島市立城辺中学校	3. 3. 31	西里 純二	宮古島市城辺字福里616番地
中	宮古島市立西城中学校	3. 3. 31	比嘉 豊樹	宮古島市城辺字西里添1080番地
中	宮古島市立砂川中学校	3. 3. 31	与座 篤	宮古島市城辺字砂川599番地
高	沖縄県立伊良部高等学校	3. 3. 31	大宮 廣子	宮古島市伊良部字前里添1079番地 の1
特	沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校	3. 3. 31	城間 政次	北中城村字屋宜原415番地

◎学校の概要

(令和3年5月1日現在)

区 分		学校数	学級数	在 学 者 数			本 務 教 員 数			本 務 職 員 数	
				計	男	女	計	男	女		
小 学 校	国 立	1	20	618	307	311	29	20	9	2	
	公 立	263(2)	4,594	99,539	50,569	48,970	6,378	2,106	4,272	1,003	
	私 立	4	48	1,185	552	633	84	40	44	20	
	計	268(2)	4,662	101,342	51,428	49,914	6,491	2,166	4,325	1,025	
中 学 校	国 立	1	12	461	231	230	24	14	10	2	
	公 立	142(2)	1,923	46,969	23,955	23,014	3,716	1,867	1,849	458	
	私 立	6	63	2,286	1,076	1,210	141	82	59	33	
	計	149(2)	1,998	49,716	25,262	24,454	3,881	1,963	1,918	493	
高 等 学 校	県 立	全 日	58	1,102	39,333 (67)	19,587 (64)	19,746 (3)	3,170	1,706	1,464	799
		定 時	7《6》	49	962	597	365	156	99	57	25
		計	59	1,151	40,295	20,184	20,111	3,326	1,805	1,521	824
	私 立 全 日	4	…	2,926	1,628	1,298	172	120	52	44	
	計	63	1,151	43,221	21,812	21,409	3,498	1,925	1,573	868	
通 信 制 高 等 学 校	県 立	2《2》	…	1,238	600	638	41	20	21	4	
	私 立	4	…	23,455	11,856	11,599	318	146	172	41	
	計	6	…	24,693	12,456	12,237	359	166	193	45	
特別支援学校	県 立	21(1)	652	2,485	1,593	892	1,525	618	907	369	
幼 稚 園	公 立	151	338	6,099	3,210	2,889	567	34	533	38	
	私 立	31	139	3,593	1,836	1,757	322	25	297	89	
	計	182	477	9,692	5,046	4,646	889	59	830	127	
幼保連携型 認定こども園	公 立	39	133	3,216	1,611	1,605	489	36	453	38	
	私 立	84	299	9,271	4,734	4,537	1,517	126	1,391	320	
	計	123	432	12,487	6,345	6,142	2,006	162	1,844	358	
専 修 学 校	県 立	—	…	—	—	—	—	—	—	—	
	私 立	60	…	10,830	4,888	5,942	756	376	380	322	
	計	60	…	10,830	4,888	5,942	756	376	380	322	
各 種 学 校	私 立	17	…	749	317	432	130	69	61	75	

(注)小学校、中学校、特別支援学校数の()は、学校のうち分校の数。

公立小学校・中学校には、それぞれ小中併置校を含む。

県立中学校は、公立を含む。

県立高校全日制の学校数には、定時制との併置校を含む。

県立高校全日制在学者数の()内は、在学者のうち専攻科の人数。

県立高校定時制学校数の《 》内は、全日制との併置校の数。

通信制高等学校数の《 》は、定時制との併置校の数。

目 次

まえがき

第 1 章 教育行財政

第 1 節 教育行政

1	教育主要施策	1
2	教育委員会	12
3	条例・規則等の制定及び改廃	21
4	事務局等組織機構	23
5	教育委員会の職員定数	27
6	広報広聴・調査統計	29
7	表彰	30
8	教育に関する公益法人等	38
9	附属機関の活動状況	38
10	争訟事件	40
11	市町村教育行政	42

第 2 節 教育財政

1	令和 3 年度教育予算の内容	43
2	市町村（組合）の教育費	52

第 2 章 学校教育

第 1 節 学校施設・設備

1	幼稚園・小・中学校の施設状況	54
2	県立学校の施設状況	56
3	学校設備	60

第 2 節 学校教育の現状と指導方針

1	幼稚園	62
2	小学校	63
3	中学校	64
4	高等学校	66
5	特別支援学校	67

第 3 節 道徳教育

第 4 節 生徒指導

第 5 節 中途退学対策

第 6 節 進路指導

第 7 節 理科教育

第 8 節 産業教育

1	産業教育の概要	77
---	---------	----

2	農業教育	77
3	工業教育	78
4	商業教育	79
5	水産教育	80
6	専門教科「家庭」教育	81
7	福祉教育	82
8	専門教科「情報」教育	83
第9節	定時制・通信制教育	84
第10節	へき地教育	86
第11節	学校図書館	87
第12節	研究指定校	88

第3章 指導行政

第1節	教科書の採択・無償給与	
1	教科書の採択	89
2	教科書の無償給与	97
第2節	県立高等学校入学者選抜	
1	現状と課題	98
2	令和4年度県立高等学校入学者選抜状況（令和3年度実施）	99
3	高等学校等への進学率の推移	99
第3節	高等学校卒業程度認定試験及び中学校卒業程度認定試験	100
第4節	学力向上推進	
1	現状と課題	101
2	事業実績	102
第5節	教育相談事業	
1	教育相談研究室における教育相談事業	103
2	令和3年度相談事業のまとめ	103
3	電話相談による教育相談事業	106
4	令和3年度障害児教育相談の概況	107

第4章 就学奨励・育英奨学・修学支援

第1節	就学奨励	
1	要保護児童生徒援助事業（令和3年度）	110
2	特別支援教育就学奨励事業（令和3年度）	110
第2節	育英奨学	
1	令和3年度沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金貸与、給与支給 状況	112
2	高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励事業	113
第3節	修学支援	
1	高等学校の授業料免除・減額	114
2	高等学校等就学支援金	114

3	高等学校等奨学のための給付金事業（令和3年度）	114
4	バス通学費等支援事業（令和3年度）	115
5	県外進学大学生支援事業（令和3年度）	115
第4節	離島児童生徒支援センター	116

第5章 教 職 員

第1節	教職員の人事	
1	学級編制と教職員定数	117
2	教職員の採用及び異動	119
3	懲戒処分・分限	127
4	教員の免許	128
第2節	教職員の休職状況	131
第3節	教職員の給与	
1	給与改定	132
2	退職手当	132
第4節	教職員の福利厚生	
1	公務災害	133
2	公立学校共済組合	133
3	教職員住宅	139

第6章 保健・体育

第1節	学校体育	140
第2節	学校保健	143
第3節	学校安全	
1	学校安全に関する調査について	148
2	学校安全教育の取組	149
3	県教育委員会としての今後の対応策	149
4	学校事故の発生状況について（令和3年度の結果から）	150
5	安全教育の指導の努力点	151
6	独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度	152
第4節	学校給食	
1	学校給食の現状	153
2	学校給食における栄養摂取状況	154
3	食品分類別摂取量	155
4	学校給食費	156
5	1年間の実績	157

第7章 生涯学習・社会教育

第1節	生涯学習の充実	
1	生涯学習の概要	158
2	生涯学習推進体制の充実	158

3	県民の学習ニーズに応える学習機会の充実	159
第2節	青少年の健全育成	
1	青少年健全育成の基本方針	164
2	健やかな青少年を育む地域活動・体験活動の充実	165
3	ユイマールの心でつなぐ学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力	165
第3節	社会教育の充実	
1	社会教育の概要	167
2	ニーズに応えた活動を支える社会教育基盤の整備・充実	168
3	時代のニーズに応える社会教育活動の充実	172
4	心の触れあいのある家庭教育機能の充実	173
第4節	社会教育施設	
1	社会教育施設の状況	175
2	公立図書館	176
3	博物館・美術館	179
4	県立青少年教育施設	181

第8章 芸術・文化

第1節	文化芸術の振興	
1	芸術文化鑑賞機会提供事業	187
2	学校文化団体の育成・支援	191
第2節	文化財の保護	
1	県文化財保護審議会	193
2	文化財の指定	195
3	指定文化財管理	195
4	戦災文化財の復元整備	196
5	文化財愛護思想の普及	196
6	文化財の調査	198
7	文化財保存整備	201
8	記念物	213
9	銃砲刀剣類の登録	225
10	みんなの文化財図鑑刊行事業	226
11	郷土文化保護育成	227
第3節	史料編集事業	
1	編集委員会	229
2	委員会の状況	231
3	令和3年度刊行物・史料調査等	234

(資料編)

行政記録（令和3年度）	236
-------------	-----